

# 「中国の貴州」そこに桃源郷を見た

— 『特定非営利活動法人 日本貴州交誼協会』 —

日本と貴州省のパイプ役を担うために、宋建勳さんは2010年にNPO法人 日本貴州交誼協会を立ち上げました。故郷で進む自然破壊や伝統文化の継承問題、経済発展の遅れなどに胸を痛め、自分でできることはないかと思ったことがきっかけだそうです。以後、理事長として、貴州に関する情報発信、日本との交流促進、貴州の経済、教育、文化の発展に貢献するため活動しています。頻りに中国と日本を行き来しており、取材した日も出張を翌週に控えてご多忙の中、終始笑顔で貴州のすばらしさについてお話しくださいました。

## はじめに

貴州省は日本人にとってあまり馴染みはありません。しかし雲南省、四川省といえは身近に感じるかと思えます。雲南省は素敵な民族衣装やお茶の産地として、四川省は辛い四川料理やジャイアントパンダの生息地として有名です。

貴州省は中国の南西にあり、雲南省、四川省いずれにも隣接しています。日本からは1,700kmの距離で、今年9月にセントレアから週3便の直行便が就航されました。これにより4時間で省都の貴陽市に到着するということです。もっとも少し前までは上海から列車で48時間かかったというので、まさに陸の孤島だったようです。

## 貴州の特徴

貴陽市は標高1,200～1,300mの高原ですが、気候は冬でも暖かく、夏は涼しい、理想的な避暑地です。人口は4,000万人で、その39%を26種の少数民族が占めています。カルスト地形が総面積の73%を占め、桂林のような山並みや、巨大鍾乳洞、滝、湖といった独特の景観が創り出されています。棚田もスケールが大きく、訪れる観光客は皆、感動するそうです。景観のすばらしさが評価されて世界自然遺産が1か所、国家的な景勝地、自然保護区などの重要な景勝地として50か所以上登録されています。

少数民族はそれぞれが文化、生活面で独立し、それぞ

れが1つの国のようだとされています。ミャオ族、ブイ族のお祭りには日本のルーツの笙、木鼓の演奏もあります。また自然の抑揚だけで歌うトンの歌を宋理事長に歌っていただきましたが、遊牧民族のホーミーのような歌だと思いました。食についても日本人には馴染みの納豆、ちまき、お餅、赤飯、漬物があるそうです。中国の国酒・茅台酒の産地であり、またお茶の生産高は中国で福建省に次いで2番目。特に砂糖を入れて飲む都均毛尖茶はとてもおいしいということでした。工芸品も手織の刺繍(博多織と同じ)や、造形的にすばらしい手彫りの硯など魅力あふれる品々がたくさんあるそうです。

## 取材を終えて

宋理事長は、日本の原風景が残る人情味あふれる貴州へのツアーを企画中とのこと。彼女の案内で貴州の人と日本人との交流が進み、より親密になってほしいと思いました。一方で、貴州が俗化して都会化することを危惧されていました。自然と開発のバランスを取りながら日中の友好が進むことを心より願います。また、展示会への出店や広報にも力を入れているとのこと、こんなにすばらしい所があるのだということも一人でも多くの方に知っていただきたいと強く思いました。



## Information

特定非営利活動法人 日本貴州交誼協会  
〒490-1132 海部郡大治町北間島屋敷85 事務局 山田典壽  
TEL:052-443-3567 FAX:052-443-3267

## できることからやってみる



### 縣 由紀子さんより

街のおそうじと一緒に楽しみましょう。green birdの開催日はホームページで随時告知をしています。「グリーンバード 名古屋」で検索してください。いつでも参加可能です。思い立った時に、ふらっと参加してください。

### ある日のあがたさんの1日

- 19:30 集合  
チーム分け・交流
- 19:45 ゴミ拾い開始
- 20:30 ゴミ拾い終了  
ゴミの分別  
集合写真
- 21:00 解散

実は私は「ボランティアをしたい!!」と思って参加したことは一度もありません。友達に誘われることで、「ボランティアってなんだろう」「自分でもできるなら」という思いが生まれ、せっかくなので一度参加してみようという流れに身を任せました。そんな私もNPO法人green birdの名古屋チームに参加し続けて約4年です。ボランティアに参加するといふ感覚も、ただ単純に、年齢に関係なくいろんな人と話すことが楽しくて、気付けば参加し続けています。そして、そこから新しい刺激があり、自分の日々の活力になっています。このような心地よい刺激をもらえる人たちが集まっている場が、たまたまボランティア団体でした。

green birdとは、「きれいな街は、人の心もきれいにする」をコンセプトに誕生した原宿表参道発信のプロジェクトです。主な活動は「街のおそうじ」。定期的に栄・大須・名古屋駅近辺のゴミ拾いを行っています。green birdのゴミ拾いは、参加の申し込みも、そうじ道具もいらないので手ぶらでフラッと参加で

きます。そして、オシャレな緑のピブスをみんなで着てゴミ拾いをするので、一体感が生まれ、初めて参加する人でも仲良くなりやすいと思います。

一度でもゴミ拾いに参加した人は、ゴミのポイ捨てをしなくなる。街の人たちも私達がゴミを拾っている姿を見れば、安易にポイ捨てをしなくなる...というのがgreen birdの法則。すぐに目に見えて大きく変わるものではないけれど、きれいな街にするために、細くても長く続けてこそ意義がある。そのため、無理して活動するのではなく、楽しくゆったりと、できる範囲で。そんな雰囲気をも名古屋チームのゴミ拾いに参加することで、感じられると思います。

定期的なゴミ拾いとは別に、他団体とコラボして街のおそうじも行います。例えば、育児支援をされている団体と企画して親子ゴミ拾いを開催しています。お子さんはゲーム感覚でゴミ拾いを楽しみ、大人は子育てのことなどざっくばらんに話しながらゴミ拾いを行います。私は子どもと触れ合う機会がなかなかないので、すごく新鮮です。こういった活動を通して、普段の生活では関わりがない年齢層、業界、地域の方々に出会うことで、新しい大きなつながりが生まれています。

green birdに参加する以前から、私は買い物で栄・大須・名駅をよく歩いていました。しかしあくまで通り道。なんの気もなしに歩いていました。おそうじをするようになってから、なぜかその街に愛着が湧き、地元が好きになりました。今後はどんな人達にお会いでき、どんなおそうじがあるのか、4年間参加した今でも楽しみです。



緑のピブスを着用してゴミ拾いを行います